

トラマール OD 錠 25mg、50mg

【この薬は？】

販売名	トラマール OD 錠 25mg Tramal OD Tablets 25mg	トラマール OD 錠 50mg Tramal OD Tablets 50mg
一般名	トラマドール塩酸塩 Tramadol Hydrochloride	
含有量 (1錠中)	25mg	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、がん疼痛・慢性疼痛治療剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、脳内への痛みの伝達を抑え、痛みをやわらげます。
- ・この薬は、次の目的で処方されます。

**非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛
疼痛を伴う各種癌
慢性疼痛**

- ・この薬は、医師の指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬の使用にあたって、具体的な服用方法、服用時の注意点、保管方法などに

ついて、十分な説明を受けてください。この薬は、処方された目的以外には使用しないでください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にトラマール OD錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・アルコール、睡眠剤、鎮痛剤、オピオイド鎮痛剤または向精神薬による急性中毒の人
- ・モノアミン酸化酵素阻害剤（セレギリン塩酸塩（エフピー）、ラサギリンメシル酸塩（アジレクト））を飲んでいる、または飲むのをやめてから14日以内の人
- ・治療によっても症状が十分にコントロールできていないてんかんのある人
- ・12歳未満の小児
- ・18歳未満の肥満、閉塞性睡眠時無呼吸症候群または重篤な肺疾患のある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・オピオイド鎮痛剤を飲んでいる人
- ・腎臓や肝臓に障害のある人
- ・てんかんのある人、痙攣（けいれん）発作を起こしやすい人、または過去に痙攣をおこしたことがある人
- ・薬物の乱用または依存の傾向のある人
- ・呼吸抑制の状態にある人
- ・脳に器質的な障害のある人
- ・過去にオピオイド鎮痛剤に対して過敏な反応を経験したことがある人
- ・ショック状態の人
- ・高齢の人

○この薬には併用してはいけない薬 [モノアミン酸化酵素阻害剤（セレギリン塩酸塩（エフピー）、ラサギリンメシル酸塩（アジレクト））] や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	トラマール OD錠 25mg・50mg
一回量	100～300mg（*）
飲む回数	1日4回

(*) 1回量は100mgを超えません。また1日量は400mgを超えません。

●どのように飲むか？

この薬は、舌の上へのせ、だ液で湿らせて舌で軽くつぶし、水なしで飲むことができます。また、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲むこともできます。寝たままの状態では、水なしで飲まないようにしてください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回分とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

黒目が小さくなる、嘔吐（おうと）、冷や汗、めまい、息切れ、心血管虚脱（冷や汗、血圧低下、顔面蒼白などのショック状態）、痙攣（けいれん）、呼吸回数が減る、呼吸停止などの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・吐き気、嘔吐、便秘などの症状があらわれることがあります。これらの対策として便秘薬や吐き気止めの薬を併用することがあります。
- ・眠くなったり、めまい、意識消失があらわれたりすることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作はしないでください。意識消失による自動車事故の報告があります。
- ・この薬は病気を完治させるものではなく、症状を軽減するためのものです。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・この薬を使用中は、授乳を中止してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。





重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない

	い、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
呼吸抑制 こきゅうよくせい	呼吸回数が減る
痙攣 けいれん	けいれん
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足のふるえ・不眠・不安・けいれん・幻覚などをおこす
意識消失 いしきしょうしつ	意識がなくなる、気を失う

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、けいれん、気を失う
頭部	めまい、意識がうすれる、意識の低下、考えがまとまらない、意識がなくなる
顔面	血の気が引く、ほてり
眼	眼と口唇のまわりのはれ
口や喉	眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声
胸部	呼吸回数が減る、動悸（どうき）
皮膚	じんましん
その他	判断力の低下、薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえ・不眠・不安・けいれん・幻覚などをおこす

【この薬の形は？】

販売名	トラマールOD錠 25mg	トラマールOD錠 50mg
PTP シート		
形状		
直径	8.0mm	10.0mm
厚さ	3.1mm	4.1mm
重さ	190mg	380mg
色	白色	白色
識別コード	Ⓜ132	Ⓜ133

【この薬に含まれているのは？】

販売名	トラマールOD錠 25mg	トラマールOD錠 50mg
有効成分	トラマドール塩酸塩	トラマドール塩酸塩
添加物	結晶セルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、エチルセルロース、ラウリル硫酸ナトリウム、セタノール、アクリル酸エチル・メタクリル酸メチルコポリマー、ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル、クエン酸トリエチル、D-マンニトール、トウモロコシデンプン、クロスポビドン、ステアリン酸マグネシウム、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、香料、デキストリン、アラビアゴム	結晶セルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、エチルセルロース、ラウリル硫酸ナトリウム、セタノール、アクリル酸エチル・メタクリル酸メチルコポリマー、ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル、クエン酸トリエチル、D-マンニトール、トウモロコシデンプン、クロスポビドン、ステアリン酸マグネシウム、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、香料、デキストリン、アラビアゴム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本新薬株式会社（<http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>）

販売提携会社：ファイザー株式会社（<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/>）

製品情報センター

患者さん・一般の方：0120-965-485

FAX：03-3379-3053

受付時間：月～金 9時～17時 30分

（土日祝祭日を除く）